

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成27年2月6日

【四半期会計期間】 第64期第1四半期(自 平成26年9月21日 至 平成26年12月20日)

【会社名】 マルサンアイ株式会社

【英訳名】 MARUSAN-AI CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 伊藤明徳

【本店の所在の場所】 愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地

【電話番号】 0564-27-3700

【事務連絡者氏名】 取締役管理統括部長 渡辺邦康

【最寄りの連絡場所】 愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地

【電話番号】 0564-27-3700

【事務連絡者氏名】 取締役管理統括部長 渡辺邦康

【縦覧に供する場所】 株式会社名古屋証券取引所
(愛知県名古屋市中区栄3丁目8番20号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成27年1月30日に提出いたしました第64期第1四半期（自平成26年9月21日 至平成26年12月20日）四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものがあります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

3 【訂正箇所】

訂正箇所は___を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第63期 第1四半期 連結累計期間	第64期 第1四半期 連結累計期間	第63期
会計期間	自 平成25年9月21日 至 平成25年12月20日	自 平成26年9月21日 至 平成26年12月20日	自 平成25年9月21日 至 平成26年9月20日
売上高 (千円)	5,909,177	6,134,783	22,233,900
経常利益 (千円)	165,483	330,821	432,236
四半期(当期)純利益 (千円)	98,552	231,508	41,683
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	100,133	235,613	63,993
純資産額 (千円)	3,243,055	3,400,110	3,432,360
総資産額 (千円)	16,664,960	17,419,931	16,837,326
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	8.59	20.17	15.17
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	19.3	19.4	19.5

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 従来、「営業外収益」に計上しておりました「技術指導料」、「受取手数料」及び「受取ロイヤリティー」につきましては、第64期第1四半期連結会計期間より「売上高」に含めて計上することに変更し、第63期第1四半期連結累計期間及び第63期連結会計年度の関連する主要な経営指標等について変更後の数値を記載しております。

(訂正後)

回次 会計期間	第63期 第1四半期 連結累計期間	第64期 第1四半期 連結累計期間	第63期
	自 平成25年9月21日 至 平成25年12月20日	自 平成26年9月21日 至 平成26年12月20日	自 平成25年9月21日 至 平成26年9月20日
売上高 (千円)	5,909,177	6,134,783	22,233,900
経常利益 (千円)	165,483	330,821	432,236
四半期(当期)純利益 (千円)	98,552	231,508	174,088
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	100,133	235,613	196,398
純資産額 (千円)	3,243,055	3,400,110	3,432,360
総資産額 (千円)	16,664,960	17,419,931	16,837,326
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	8.59	20.17	15.17
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	19.3	19.4	20.2

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 従来、「営業外収益」に計上しておりました「技術指導料」、「受取手数料」及び「受取ロイヤリティー」につきましては、第64期第1四半期連結会計期間より「売上高」に含めて計上することに変更し、第63期第1四半期連結累計期間及び第63期連結会計年度の関連する主要な経営指標等について変更後の数値を記載しております。

第2 【事業の状況】

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

(訂正前)

その他食品事業

鍋スープ市場の競争激化により、出荷量が減少したため、売上高は、6億18百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

(訂正後)

その他食品事業

鍋スープ市場の競争激化により、出荷量が減少したため、売上高は、6億18百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

その他

技術指導料及び受取ロイヤリティーとして、売上高4百万円（前年同期比3.3%減）を計上いたしました。